

Miracle 130-step stairway of Omoto Elementary School

2-8

おもとしょうがっこう きせきの130だんのかいだん

# 小本小学校 奇跡の130段の階段

☑ 下閉伊郡岩泉町小本字内の沢2

☎ 0194-22-2111 (岩泉町教育委員会)

## 歴史

(成り立ち)

東日本大震災の復興途上、2016年8月の台風10号で大水害に見舞われた岩泉町。993km<sup>2</sup>と本州で最も面積の広い町である。その東端、太平洋に注ぐ小本川河口両岸に小本地区はある。北の長内川河口部に小本漁港、南側には小本須賀の砂浜が広がり、その奥に海岸段丘がそびえる。小本地区はワカメ・ウニ漁が盛んで、昭和初期、ワカメ干して浜辺が黒く染まったという。昭和40年代以降は、ワカメ養殖やサケの放流事業が町の水産業を支えている。岩泉町の海岸線は約12kmと短い、明治三陸大津波(明治29)や昭和三陸大津波(昭和8)と、過去に大きな被害に見舞われた。そして平成23年3月11日、15時28分頃に発生した津波は漁港を呑み込み、濁流は高さ13.3mある小本川水門も防潮堤も乗り越えて、小本の集落や田畑を襲った。

## 震災に まつわる物語

明治9年創立の歴史を持つ小本小学校は、集落の一番奥の山裾にあった。地震が発生した時は5時間目の授業中で、10分後に学校長が避難指示を発令。全児童が教職員と長さ30m、130段の避難階段を使い国道45号線の通る高台へ駆け上り、指定避難場所へ逃げのびた。元々、学校の裏手の崖に階段はなかった。避難訓練の際、海側を迂回して逃げる児童の様子を見て、岩泉町長が国土交通省に避難階段の設置を求め、平成21年3月に完成。20mにも及ぶ大津波がこの地を襲ったのは、それからちょうど2年後のこと。子どもや教職員に一人の犠牲者も出さずに済んだ。その後、学校は平成24年1月、大牛内分校内の仮設校舎へ移転。平成28年3月には三陸鉄道北リアス線岩泉小本駅近くに、小本中学校と合同の新校舎が完成し、4月から授業を再開した。



避難階段と旧小本小学校。奥には小本川水門が見える

# TOPICS

## 見る① 熊の鼻展望台

小本港の南に突き出た赤松の茂る半島「熊の鼻」。波によって穿たれた岩の二つの洞を熊の鼻の穴に見立てて「熊の鼻」と名付けられたその岬を眺望できる。三陸復興国立公園屈指のビューポイントで、

朝日を拝むのにも絶好の場所。元旦には美しい初日の出を見ようと、大勢の人が詰めかける。展望台にはトイレやベンチも完備されており、ウォーキングの休憩地として最適。(トイレは冬期閉鎖)



☑ 下閉伊郡岩泉町小本字茂師 ☎0194-22-4755 (岩泉町観光協会) P15台

## 見る② 道の駅いわいずみ

「三陸の海と森を“結ぶ”連絡ステーション」と謳うだけあり、大地の恵みがたっぷり味わえる。レストランでは「いわいずみ短角牛肉」や産直野菜など、地場食材を使ったメニューが自慢。カフェでは龍泉洞の水で淹れた「名水コーヒー」や「短角牛コロッケ」、「いわいずみ牛乳ソフト」が人気だ。「山葡萄ワイン宇霊羅」、「岩泉ヨーグルト」はお土産にも喜ばれる。台風10号による水害が建物を直撃、営業に支障をきたしていたが、平成29年4月20日、待ちに待った完全営業再開になる。



☑ 下閉伊郡岩泉町乙茂字乙茂 90-1 ☎0194-32-3037  
P 普通車 32台 大型車 5台 身障者用 2台  
☎ 9:00 ~ 16:00 年中無休

## 食べる③ 岩泉ヨーグルト

5年連続モンドセレクション受賞、全国からお取り寄せされる人気のヨーグルト。新鮮ミルクから作るもちっとした食感や生乳本来のまろやかな味わい。グルメテレビ番組でも取り上げられ、話題に。台風10号による水害で工場が浸水し、製造・出荷ができなくなった。平成29年8月の操業再開を目標に励んでいるという。工場の再建が待ち望まれる。



☑ 下閉伊郡岩泉町乙茂字和乙茂 8-1 (岩泉乳業本社工場) ☎0194-22-3800

## 見る④ 岩泉純木家具

数百年生き抜いた大木を、大きいまま使ってあげたいと、家具作りを始めた。岩手県産材の栓・栗・胡桃・榆を丸太で仕入れ、自社で製材。木材の個性に合ったデザインが生まれる。基本的に一人の職人が一つの家具を一貫して作り上げ、最後に職人の名入りの焼印が押される。本社工場では製品の展示は行っていないが、見学は随時可能。盛岡市と北上市に直営店が、長野市に特約店がある。



☑ 下閉伊郡岩泉町岩泉字方畑 7 ☎0194-22-3302 ☎ 8:00 ~ 17:00 困土曜 日曜

食べる 5 さげんぼう 鮭ん坊  
小元浜漁協女性部が開発し、岩手の浜料理選手権で見事、岩手県知事賞に輝いた。採卵後のメス鮭をミンチにし、スルメイカを混ぜ触感と風味を加え、お好み焼き風の串揚げにした。イベント市で見かけたらぜひご賞味を。

☑ 下閉伊郡岩泉町小本家の向 221-1 (小本浜漁業協同組合) ☎0194-28-2125 (小本浜漁業協同組合)

遊ぶ 6 モシ竜ロマン・クルーズ & 被災地ガイド  
茂師地区は日本で初めて恐竜の化石が発見された地。「モシ竜」にちなんで乗船体験は、サッパ舟よりやや大きい船に乗り、漁師兼ガイドの船頭さんの案内で海蝕洞、奇岩、化石産地などを見学。小本漁港発着で、乗船時間は約1時間。「被災地ガイド」は「防災に役立ててほしい」と、小本の人々が津波の体験談を交えながら案内する。

☑ 下閉伊郡岩泉町岩泉字中野 40-42 (岩泉観光ガイド協会) ☎0194-22-5955 ☎ 4 ~ 10月 (11 ~ 3月は応相談) 2週間前までに要予約

見る 7 小本津波防災センター  
鉄筋コンクリート3階建ての防災施設が小本地区に誕生した。三陸鉄道の岩泉小本駅ホームに連結し、お土産も買える。役場小本支所、診療所、会議室など、地域の利便性を考えた複合施設で、3階は災害時に一時避難所に利用できるようになっている。

☑ 下閉伊郡岩泉町小本字南中野 241 ☎0194-28-3883 P25台 ☎ 9:00 ~ 21:00 (施設利用時間) 困 12/29 ~ 1/3

# DATA BANK

料金・施設などのデータは、2017年3月現在のものです。

## 泊める

	名称	ひとこと コメント	インフォメーション	写真
8	ホテル りゅうせんだうあいぜん 龍泉洞愛山	地元産の食材を活かした料理をゆっくり部屋食で。秋は松茸づくしのプランも。2つの貸切風呂も人気	☎ 下閉伊郡岩泉町岩泉字松橋1-2 ☎ 0194-22-4111 ☎ P 40台 ¥1泊2食大人1名7,560円～ ／素泊まり大人1名5,400円～	
9	りゅうせんだうおんぜん 龍泉洞温泉 ホテル	お肌に優しい弱アルカリ性の温泉。心身とも寛げる炭風呂が有名。龍泉洞まで徒歩約15分で、入湯券付のプランもある	☎ 下閉伊郡岩泉町岩泉字府金48 ☎ 0194-22-4141 ☎ P 50台 ¥1泊2食大人1名7,344円～ ／素泊まり大人1名4,918円～	

## 見る

	名称	ひとこと コメント	インフォメーション
10	りゅうせんだう 龍泉洞	日本三大鍾乳洞の一つで、洞内に棲むコウモリとともに、国の天然記念物。見つかった地底湖は8つ（内3つが公開中）で、現在も継続調査中	☎ 下閉伊郡岩泉町岩泉字神成1番地1 ☎ 0194-22-2566 ☎ P 450台 ☎ 8:30～17:00 ☎ 年中無休 ☎ 大人（高校生以上）1,000円 小・中学生500円
	なかのなづまい 中野七頭舞	天保年間から小本地区に根付く郷土芸能。五穀豊穡・家内安全・大漁を祈願して踊る。小学生や若者が担い手として活躍している	公演予定や記録などは、中野七頭舞保存会のFacebookやTwitterで

## 食べる

	名称	ひとこと コメント	インフォメーション
11	ラーメン ショップ とよし	アツアツの餃子と、ネギと味噌が絶妙にマッチした懐かしいラーメン。店員さんの元気の良いかけ声もまた気持ち良い	☎ 下閉伊郡岩泉町小本字南中野246-1 ☎ 0194-28-2533 ☎ P 6台 ☎ 11:00～15:00 17:00～19:00 ☎ 月曜
12	いわいずみ 岩泉 まつたけ	マツタケの産地、岩泉町。中でもマイスターが選定した高品質な「岩泉まつたけ」ブランド。岩泉松茸社で豊作を願う。ご購入は、ホテル龍泉洞愛山の「松茸屋」や直売所などで	☎ 下閉伊郡岩泉町岩泉字中野40-42（岩泉まつたけ事業協同組合） ☎ 0194-22-3245
13	せんしんしやう 泉金酒造 かぶしきがいしや 株式会社	江戸時代から続く造り酒屋。龍泉洞の水が磨く「龍泉八重桜」や、上品な香りとコクの「岩泉松茸酒森の宝」など。蔵見学は事前予約を	☎ 下閉伊郡岩泉町岩泉字太田30 ☎ 0194-22-3211 ☎ 8:30～18:30 ☎ 日曜 祝日 1/1～1/3
	いわいずみたんこう 岩泉炭鉱ホルモン	かつて炭鉱で栄えた小川地区に伝わるご当地グルメ。スパイスのきいたホルモン鍋は、店舗によって味も様々。食べ歩きも楽しい	町内の18の店舗や旅館で販売、提供している。毎年10月には炭鉱ホルモン祭りがある。☎ 0194-22-3245（岩泉商会）

## 書籍

タイトル	ひとこと コメント
わがからてじんせい 我が空手人生	著者の金澤弘和氏は、小本の出身。国際松濤館 空手道連盟を設立する。月刊『武道』に連載されたものを一部加筆して上梓。日本武道館 発行。税抜2,400円
つなみ 津波	潮賞小説部門受賞作。昭和8年3月3日三陸地方を襲った津波を題材に、緻密な文体と東北弁を駆使して綴られる。著者の菅原康は岩泉町向町出身。潮出版社 発行

## 小本っ子 ご推せん

## ウォーキング コース

約6kmの手ごろなハイキング周回コース。小本の町並みや青い海を望むことができる。旧国道は、新緑や紅葉の頃は特に気持ちが良い。「熊の鼻展望台」は四季を通じて三陸海岸の雄大な景色を見せてくれる。国内で最初に恐竜が発見された崖もあり、学術的にも興味が尽きない。

コース A	コース
三陸鉄道 岩泉小本駅・小本津波防災センター	— 1.4km・19分 — 旧小本小学校・避難階段
(巡礼地)	— 2.3km・40分 — 熊の鼻展望台 — 550m・11分 — モン竜発見場所 — 2km・33分 — 避難階段・旧小本小学校 (巡礼地)